

くすパートナー

「座れ」「ウエイト(待て)」などの指示を覚え、障害物のよけ方など視覚障害者を街中で安全に誘導できるような訓練を積みました。

「グッド、グッド」。指示通りにできた時、国弘さんはシヨをたたく喜びがあります。国弘さんとシヨは人生



シヨは15年に静岡県日本盲導犬協会日本盲導犬総合センターで誕生し、浜田市同協会所属の盲導犬訓練センターで訓練を受けました。

たくさんの人に抱っこされるセラピー犬のポッキー



セラピー犬

お年寄りの心癒やす友

「ななちゃん」「ポッキーくん」。竹原市の通所介護施設「ライオンズ竹の子」で、お年寄りが2匹の犬の名前を楽しくそっけなく呼びました。ななはゴールデンレトリバー、ポッキーはトイプードル。2匹ともセラピー犬として活躍しています。セラピー犬は、老人福祉施設

や病院、保養所などをまわって、お年寄りや子どもたちを癒やしてくれる犬のことです。

アニマルセラピー協会(東広島市)では、代表理事「晋川久美さん」やスタッフ「ボランテティア」が飼っているセラピー犬1匹が登録されています。晋川さんは月に8回、ななやポッキーたちセラピー犬と一緒に竹の子を訪れます。

セラピー犬は、ゆかに座ったままのお年寄りたちに次々と頭をなでられ、抱っこされます。「お手」を命じられると前足を出し、ゲームで飛ばされたスリッパはさつとくわえて戻ってきます。犬との触れあいを通じて、お年寄りの表情は緩んでいきます。

セラピー犬になるには、飼い主とペアで協会の養成教室に約2年通います。人と触れ合うことが仕事なので、たくさんの人に触れられても嫌がらず、飛びつかず、ほえず、かまない訓練を積みみます。車いすやつえにぶつかったり、大きな音が急にしたりした時にも驚いてはいけません。

セラピー犬が訪問する施設では、触れ合いがうれしくて涙を見せる人もいます。晋川さんは、医療現場での活躍の場を増やしていきたいと考えています。

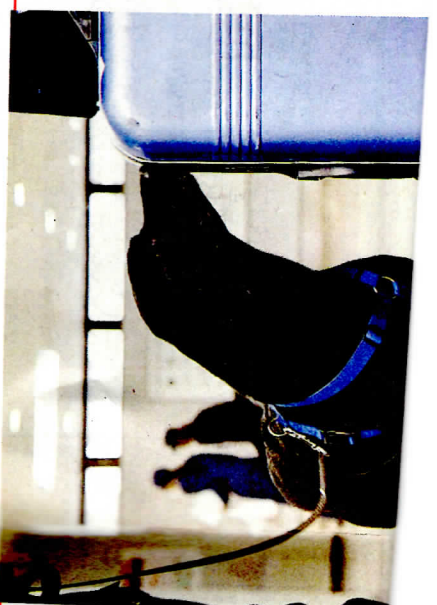
あちこちで活躍中です



(農林水産省動物検疫所)

覚せい剤など麻薬の匂いをかき分ける訓練されています。空港や港、国境に派遣され、手荷物や輸入貨物に隠された麻薬を見つけます。

麻薬探知犬



(財務省神戸税関広島税関支署)